

# 石と心に刻まれた戦争の記憶

## セピア色をした一枚の写真

この写真は、陸軍のパイロットになるために東京・立川にあった飛行学校へ入校した息子に両親が面会で訪れた時に雑誌記者によって撮影されたものです。



撮影の翌日（昭和19年3月27日）、息子は訓練場所の移動により九州北部の太刀洗（たちあらい）へと旅立ちました。

両親は、「遠くへ行ってしまう前に息子に一目会いたい。ひょっとすると今生の別れとなるかもしれない」と言う気持ちで、丹精こめて作った御馳走を手に面会に行ったのではないのでしょうか。

その頃日本は、アメリカ・イギ

リス・オランダ等の国々と二年半に及ぶ戦争をしていて、形勢は明らかに日本が不利な状況でした。「この状況を跳ね返すためには、より多くのパイロットを養成し、前線に配備して敵を打ち負かさねばならない」との掛け声の下、多くの少年達がパイロットを目指して、飛行学校へ入学しました。

その後、戦局は決定的に不利となり、飛行機ごと敵の軍艦に体当たり攻撃を行う「神風特別攻撃隊」を編成して戦いますが、圧倒的な軍事力を持つアメリカ・イギリスの勢いを止めることができず、東京を始め多くの都市が空襲に会い、広島・長崎に原爆が投下され、昭和20年8月15日、日本の敗戦により戦争は終結しました。

山武市歴史民俗資料館では、忠魂碑や飛行場跡等の戦争遺跡や、従軍体験等の心に刻まれた戦争の記憶について取り上げ、郷土と戦争の関わりについて考える企画展を開催します。

山武市歴史民俗資料館からのお知らせ

平成27年度企画展

『太平洋戦争終結七〇年展』二  
「石と心に刻まれた戦争の記憶」  
会期：10月31日（土）～平成28年3月27日（日）

### 「錦風茶会」

日時 11月1日（日）午前10時～午後3時  
場所 伊藤左千夫生家  
左千夫茶道具展示  
茶室「唯真閣」  
（公開時間制限有）



募集人数 200人程度  
参加費 無料

### 山武市歴史民俗資料館分館「松尾藩資料館」開館

明治二年（一八六九）に掛川藩主太田資美が松尾に転封となり、稜堡式（大砲を攻守主眼とする近代築城法・函館五稜郭が有名）の居城を築城。



藩主 太田資美

土族他多くの人々が松尾の地に移住してきました。

松尾地区には太田家関連資料が多数遺存しています。重要資料の保存、活用を図るべく「松尾藩資料館」を松尾IT保健福祉センター1・2階に開館いたします。

### 記念講演会（参加自由）

日時 11月23日（月）午後2時30分～3時15分

演題 「松尾城」について

講師 小高春雄氏（山武市文化財審議委員）

講演会終了後、ギャラリートークを実施します。

一般公開開始日 11月26日（木）

休館日 松尾図書館と同じ

開館 歴史民俗資料館

☎0475(82)2842